

コア企業：(株)プラウシップ（札幌市：はん用機械器具製造業）
連携企業等：(株)エスピー工研、(株)白石ゴム製作所、大嘉産業(株)

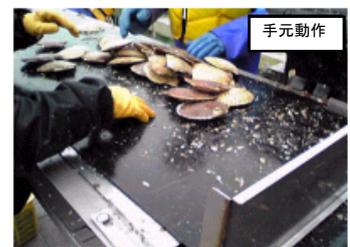
事業計画の概要：ホタテ地蒔増殖小型底曳網漁における移動・収納が可能なホタテ貝選別支援装置の開発 ～日本一のホタテ漁場のニーズに応え、作業の効率化と労働負担の軽減を実現～

1. ホタテ養殖には主に貝殻に穴をあけてロープにつるして稚貝を成長させる垂下式と、稚貝を海底にまいて成長させる地蒔式の2方式がある。オホーツク海沿岸では後者の地蒔養殖が行われており、ふ化後1年程度の稚貝を海に放流し、3～4年目に収穫している。収穫は、漁具（八尺）を海底に下ろしてから一定時間船で曳航した後、甲板に引き上げる底曳網漁という漁法が用いられている。
2. 底曳網漁では、捕獲され船上に積み上げられたホタテの山から空貝、石、ヒトデなどを除去し、売り物になる貝を船倉に納める選別作業が行われている。1回の水揚げ量は約2.5トンで、20年ほど前より変わらず4～5名の人手により行われている過酷な作業である。ホタテ漁の現場では、近年、作業員の高齢化が進む中で人材確保も難しくなっており、作業の軽労化が急務となってきた。
3. 宗谷漁協から開発要請を受け、(株)プラウシップを中心として、鍛造製品製造技術を持つ(株)エスピー工研、特殊ゴムベルトの技術を有する(株)白石ゴム製作所、販売を手がける大嘉産業(株)による連携体を構築し、北海道立工業試験場や北海道大学の支援を受けながら、開発に着手してきた。
4. 本装置は、①負担のかからない体勢での作業が可能、②従来の2倍の処理能力、③手狭な甲板上での装置の組立や収納が可能などの特徴があり、作業者の負担軽減とともに作業効率の飛躍的なアップから、作業時間の短縮による燃料代等の操業経費の削減も可能となる。
5. コア企業の(株)プラウシップが総合的な企画・構想立案を行い、機械装置の開発を行う(株)エスピー工研、ゴム部品や特殊ベルト開発の(株)白石ゴム製作所が中心となり製作を担当、大嘉産業(株)がオホーツク沿岸の14漁業協同組合に販売を進める。さらに応用技術を基に新たな商品展開をも視野に入れるものである。

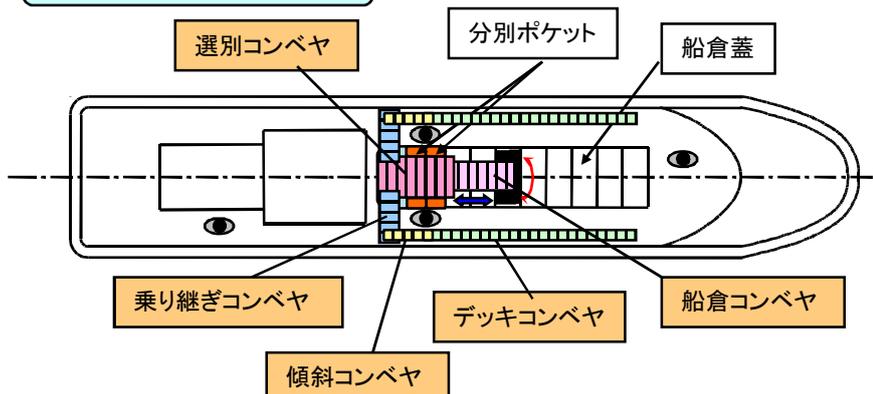
従来の手選別作業

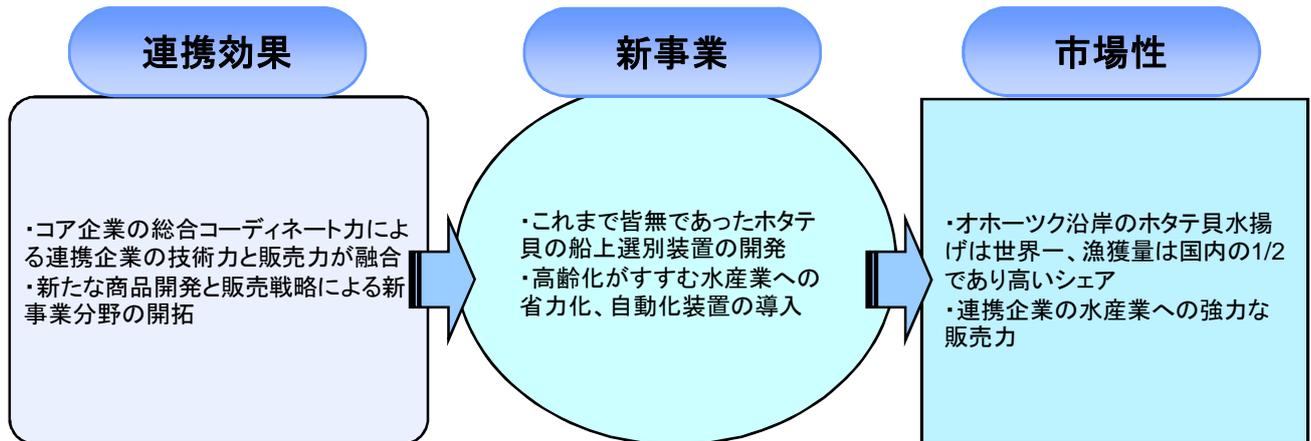
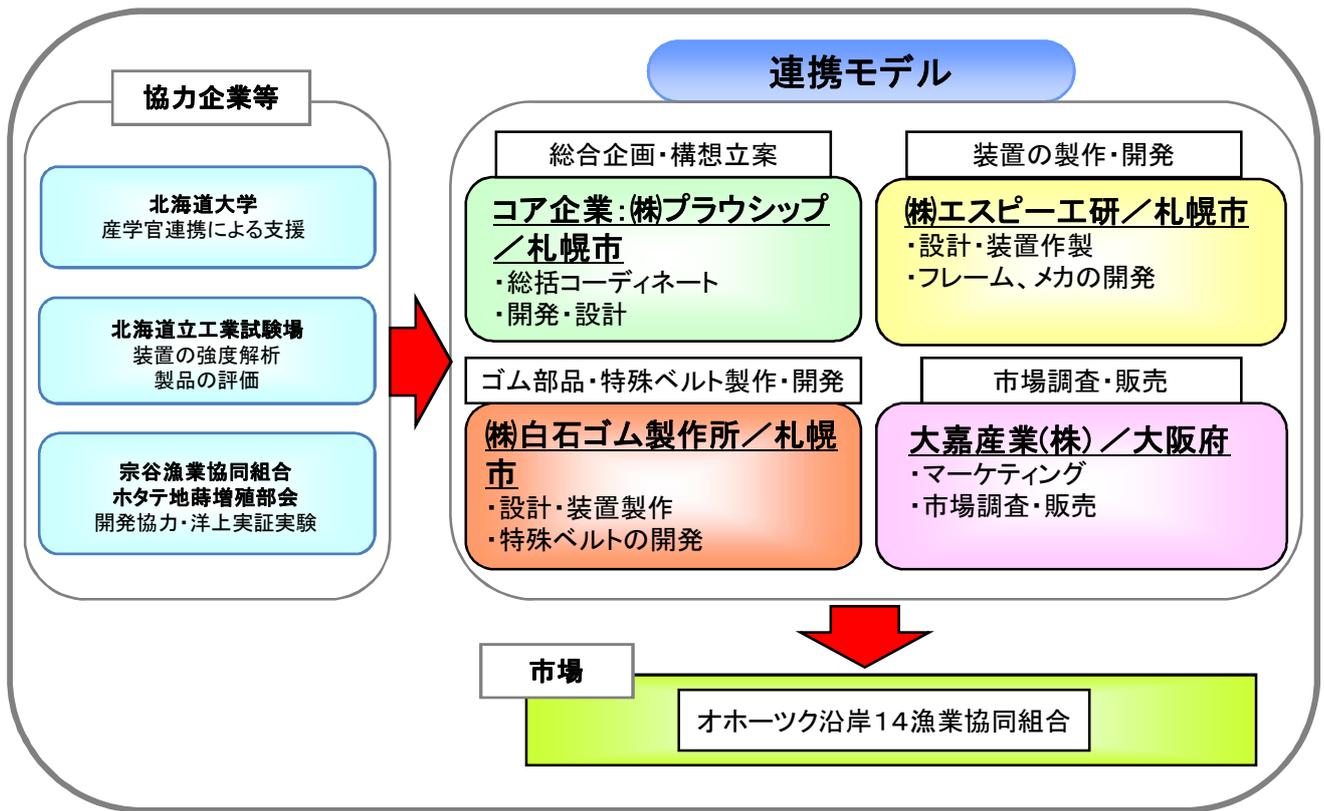


選別支援装置設置後の選別作業



装置設置状況





支援メニュー

【支援金融機関】 国民生活金融公庫、札幌中央信用組合

【活用(予定)支援メニュー】 ①補助金 ②政府系金融機関の低利融資

コア企業の会社概要

企業名・代表者	株式会社プラウシップ 代表取締役 千葉 武雄	
所在地	北海道札幌市白石区北郷4条4丁目20番17号	
創立	平成17年1月	
資本金・従業員数	1,000万円	2名
TEL/FAX	011-875-5191	011-875-6343
e-mail	t.chiba@plowship.com	
URL	http://www.plowship.com	